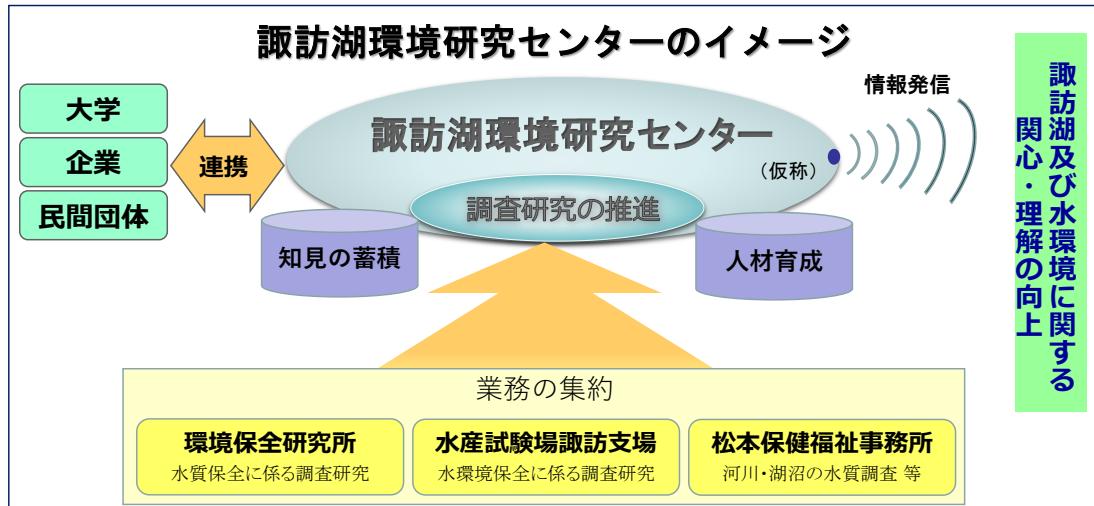


## 諏訪湖環境研究センター（仮称）の設置検討について

水大気環境課

## 1 諏訪湖環境研究センター（仮称）のイメージ



## 2 諏訪湖環境研究センター(仮称)あり方検討会の開催状況

2018～2019年度の2年間をかけて有識者等で構成する検討会であり方を検討中。  
2022年度までの業務開始を目指すこととしている。

- (1) 検討会では、主に①調査研究機能、②学びの場の機能（情報発信、環境学習）、  
③関係機関との連携等の3点について検討

## (2) 開催状況

開催日	会議事項	主な意見等
第1回 2018.6.19	○諏訪湖の水環境の状況及び 諏訪湖創生ビジョンの概要 ○センターのあり方の方向性 (案)及び検討会における検 討事項	・情報発信をしっかりとっていただきたい。 ・研究に力を入れるのであれば、研究職を置き 職員の異動サイクルを長くすることが必要。 ・各機関で保有しているデータを集約し有効 に活用できるように。
第2回 2018.9.19	○県機関における諏訪湖に関 する調査研究の状況 ○充実強化が必要な調査研究	・様々調査研究をしているが、データが有効に 活用できていないのでは。 ・センターには企画調整の機能も必要。
第3回 2018.12.19	○センターの機能の方向性及 び業務内容 ○調査研究機能	・職員が研究に専念できる体制整備・環境づくり。 ・大学、市町、民間企業等との連携が重要。 ・センターの機能の発揮するためには必要な 職員と予算の確保が必要。
第4回 2019.2.14	○学びの場の機能（環境学習、 情報発信）	・市町村や団体が行っている取組や情報を取 集し広く発信。 ・関係機関や市町村の取組をつなぐコーディネーターの配置。 ・住民が諏訪湖の水質を調べることができる 例えば「市民研究室」の設置。